

# 中津川市 橋梁長寿命化修繕計画 概要版

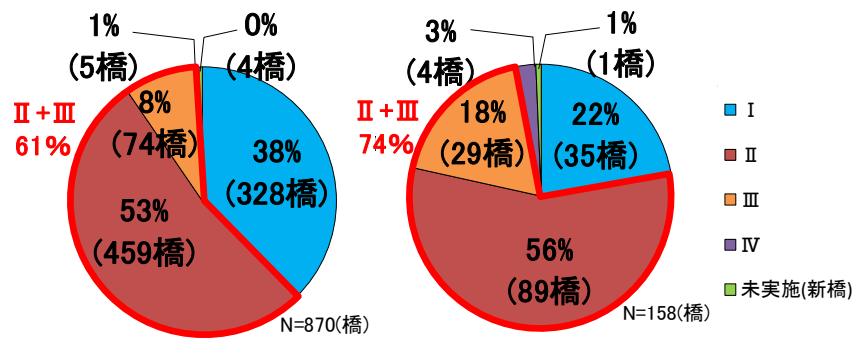
令和5年3月

本市が管理する橋梁870橋の維持管理について、従来の事後保全的(対症療法的)な修繕から、計画的かつ**予防保全的**な修繕に転換し、安全で安心な道路サービスの提供を行うとともに、橋梁の**長寿命化**、**新技術・新工法の活用**、**集約化・撤去等**による**維持管理コストの縮減**および予算の**平準化**を図ることを目的に、橋梁長寿命化修繕計画を策定しました。

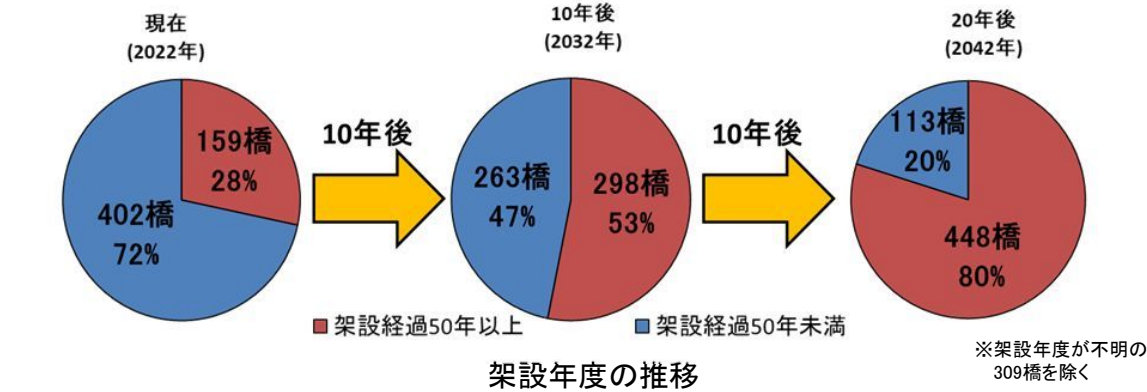
## 1 中津川市が管理する橋梁の現状

### 鋼橋において損傷が顕在化、老朽化が更に進む

- ・修繕を要するⅡ～Ⅲ判定の橋梁は533橋あり、全体の61%を占めます。その内、鋼橋では腐食等が多く、伸縮装置からの漏水等により、損傷が進展しています。
- ・また、10年後には半数以上の橋梁が架設年数50年を超えるため、老朽化が更に進み、事後的な修繕及び架替では莫大な費用が必要になります。
- ・今後は、橋梁の長寿命化と修繕費の縮減の観点から、計画的に修繕していく必要があります。



主桁端部の腐食



## 2 老朽化に対する基本方針

### 効率的なメンテナンスサイクルの構築に向けた取組

- ・老朽化対策に向けて、早期に損傷を発見して修繕する「**メンテナンスサイクル**」を推進することが重要となります。また、本市における**都市の将来像**(人口ビジョン・立地適正化計画等)も鑑み、メンテナンスサイクルの推進に向けた基本方針について、以下の3項目を挙げます。

- 基本方針1: 予防保全を前提とした点検-修繕の計画的な実施
- 基本方針2: 新技術の導入等による長寿命化-コスト縮減
- 基本方針3: 集約化-撤去による管理施設数の削減

## 3 長寿命化修繕計画の効果

### 橋梁の長寿命化

- ・事後保全型では大規模な工事を要し、修繕が追い付かず、安全な道路を提供できなくなる恐れがあります。今後は、損傷が軽微な段階で修繕し、損傷原因を断つことで、橋梁の耐用年数を延伸させます。



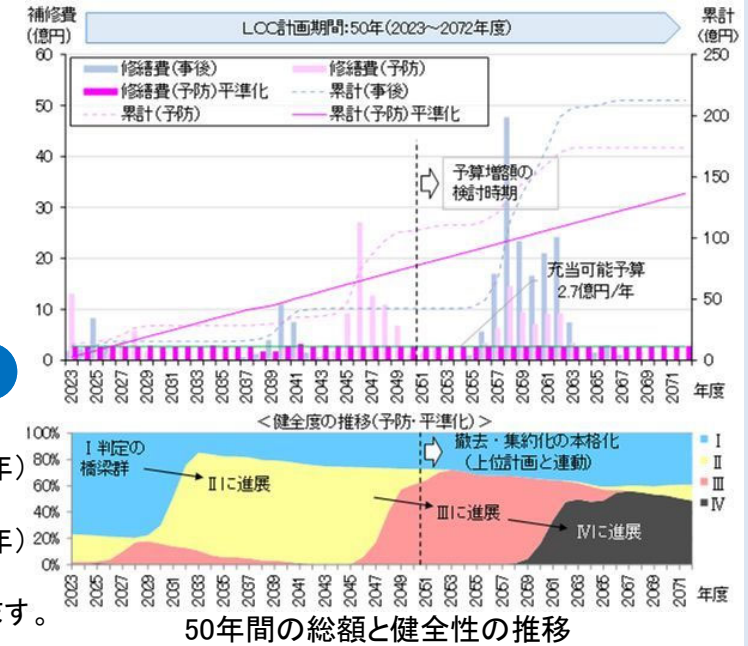
伸縮装置取替による主桁端部の予防

### ライフサイクルコストの縮減

- ・事後保全型管理の場合の費用  
50年間総額で約290億円(5.8億円/年)
  - ・予防保全型管理の場合の費用  
50年間総額で約230億円(4.6億円/年)
- コスト縮減効果として、約60億円(1.2億円/年)が期待できます。

### 今後の取組

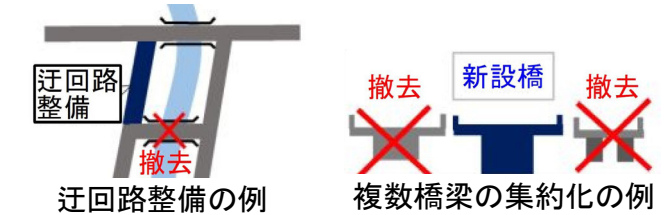
- ・当面は現状予算で予防保全型管理に移行しつつ、新技術活用により更なるコスト縮減を検討します。
- ・2050年以降では、本市の将来像を踏まえ、集約化-撤去の本格化や予算増額を検討します。



## 4 集約化-撤去に向けた取組

### 市内の上位計画との連動・地元住民との合意形成

- ・本市の都市の将来像として示されている「中津川市立地適正化計画 令和3年3月」等と連動し、橋梁の集約化-撤去に取り組みます。
- ・集約化-撤去においては、地元住民とよく話し合い、「迂回路整備」、「ダウンサイジング」、「複数橋梁の集約」等の最適な手法を検討します。



(参考: 道路の集約-撤去事例集 令和4年3月 国土交通省道路局)

## 5 編集・発行

平成26年3月 策定 中津川市 建設部 建設課  
令和05年3月 改定 〒508-8501 岐阜県中津川市かやの木町2-1  
電話番号:0573-66-1111